

小学校 5 年

情報活用を大切にした学び

東大阪市立布施小学校

教科

社会

単元名

安全で人にやさしい自動車づくり

本時のねらい

- ・自動車会社がどのような自動車を開発しようとしているのかを調べ、安全で人にやさしい自動車の研究・開発がおこなわれていることを理解する。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・授業の見通しをもつために、Google Classroom を使って本時の流れを確認する。
- ・Figjam を活用し、課題解決に向けて集めた情報を分類し、関連付け、表現する。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google Classroom
- ・Figjam
- ・Google スプレッドシート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (7 分)	・Classroom で本日の課題とルーブリックを確認する。 【学習課題】 自動車会社はこれから、どのような自動車を開発しようとしているのだろうか。 ・スプレッドシートに自分の今日のゴールとめあてを打ち込む。	・Classroom で授業の流れや評価等を共有することで、課題に対して、主体的に取り組むための手立てとなる。 ・共有されたスプレッドシートに自分のゴールとめあてを打ち込むことで、何をすればよいか悩んでいる児童の支援の手立てとなる。
展開 (33 分)	①情報収集：教科書から課題解決に必要な情報を収集する。その情報を Figjam のふせんカードに入力する。 ②分類：集めた情報のふせんを「人」「空間」「時間」で色分けし、整理する。 ③関連付け：集めた情報のふせんをつなげて、構造化していく。 【写真 2】 ④2 周目：自分のゴールに向けて、足りない情報を収集し、分類、関連付けをする。 ⑤学びの中で、自分が調べたいと思ったことや疑問に思ったことについて調べ、Figjam にまとめる。	・Figjam のふせんにできるだけ短い言葉で集めた情報を打ち込むことを意識させた。そうすることで、課題に対して必要なキーワードを捉えやすくなることができる。 ・キーワードを「人」「空間」「時間」で分類することで、そのキーワードごとに考えることができる。 ・シンキングツールを使って分類や比較をしたり、言葉同士を関連づけたりすることで自分の考えを構造化させることができる。
まとめ (5 分)	・本時のめあてをもとに、授業のふりかえりをスプレッドシートに打ち込む。 【写真 3】	・スプレッドシートを使い、ふりかえりを共有することで、他者の学びを参照することができる。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】スプレッドシートに自分の今日のゴールとめあてを打ち込んでいる場面



【写真 2】Figjam で集めた情報のふせんをつなげて、構造化している場面



【写真 3】授業のふりかえりをスプレッドシートに打ち込んでいる場面

児童生徒の反応や変容

- ・子どもたちは、一斉授業をしていたときよりも、自ら課題解決に向けて学びを進める学び方に楽しみを見出したことによって、学習に意欲的に取り組んでいる。教科書には様々な情報が掲載されており、学びを進めるよいモデルであると子どもたちは感じ始めている。教科書からの情報収集の力を積み重ねることで、社会だけでなく、国語や理科、書写など様々な教科において、教科書を効果的に活用して学びを進める子どもが増えている。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・情報収集→整理・分析→まとめ・表現という探究のサイクルで学びを進めることで、子どもたち自身が主体的に学習に取り組むようになったと感じる。また、日ごろから整理・分析の過程で、様々なシンキングツールを紹介しているので、子どもたちが自らシンキングツールを選び、使うようになってきている。